兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及 び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了 承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者 さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	B型慢性肝疾患における核酸アナログによる発癌効果に関する検討 [倫理審査受付番号: 3651 号]
研究責任者氏名	榎本 平之
研究期間	2020年11月17日 ~2025年12月31日
研究対象疾患・診療 科名	疾患名:B型慢性肝疾患で兵庫医科大学病院に通院または入院歴があり、エンテカビル、テノホビル、ラミブジン治療を導入した方 /診療科名等:肝胆膵内科
研究対象期間	受診日: 西暦 2003年 1月 1日~ 2020年11月17日
研究に用いる 試料・情報の種類	□試料等 ☑カルテ情報 □アンケート □その他()
研究目的・意義	B型肝炎ウイルスの持続感染は、肝硬変および肝がんが発生しやすいことが問題となっています。B型肝炎に対する抗ウイルス療法によってB型肝炎ウイルス量は減少し、その結果肝がんおよび/または死亡リスクの低下させる効果があります。しかしながら、B型肝炎ウイルスは患者から根絶されることはないので、原則中断することなく長期間内服する必要があります。 エンテカビル、テノホビルとラミブジンはB型肝炎ウイルスの経口抗ウイルス剤です。ウイルスは薬剤の効果を弱める能力(薬剤耐性)を持つことがありますが、エンテカビル、テノホビル薬はそのようなことは起こりにくく、治療ガイドラインではB型肝炎患者の第一選択薬として推奨されています。しかしながら、肝がんリスクの下げる効果についてエンテカビルとテノホビルを比較する十分な研究はありませんでした。いくつかのコホート研究では、エンテカビルとテノホビルとの間で肝がんリスクに差はなかったと報告されているものもありますが、生存率まで直接比較していません。それに十分な研究といえるほどの患者数および発癌症例数でもありません。以上のように、治療薬剤の種別による肝がんの発症に差があるかどうかは不明です。

研究の方法	本研究では、通常診療で取得された診療情報より下記観察・測定項目を調査し評価項目を検討します。 ●利用するカルテ情報 カルテ情報: ① 治療開始時の臨床所見(年齢、性別、肝硬変の有無) ② 治療開始時の血液所見(AST、ALT、血小板数、HBs 抗原量、HBe 抗原、HBV DNA量、HBV genotype) ③治療薬剤(エンテカビル、テノホビル、ラミブジン) ④治療後の発がんの有無、発がんした症例の発がん日時、最終転帰。 ●検体や情報の管理 血液検査は、院内で測定され保管されます。 得られた情報を用いて、長崎医療センター内で集計、解析が行われます。
外部への試料・情報	本学で得られた情報は、国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センターへ提供さ
の提供	れます。
研究組織	【研究代表者】 国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター・肝臓内科 山崎一美 【共同研究施設】 愛知医科大学病院 大阪公立大学医学部附属病院 大阪大学病院医学部附属病院 大阪労災病院 岡山済生会総合病院 香川県立中央病院 香川大学医学部附属病院 金沢大学附属病院 金沢大学附属病院 国立国際医療研究センター国府台病院 (国・山・大学医学部附属病院 聖マリアンナ医科大学病院 仙台厚生病院 手稲渓仁会病院 東海大学医学部附属病院 東京都立駒込病院 名古屋市立大学付属病院 日本大学病院 兵庫医科大学病院 兵庫医科大学病院 福岡大学病院

多施設共同研究用

	自治医科大学
	山梨大学付属病院
	横浜市立大学付属病院
	北海道大学
	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した (匿名化といいます) 上
個人情報の	で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指
取扱い	針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定さ
	れない形で行います。
	診療科名等: 肝胆膵内科
本研究に関する	担当者氏名: 榎本 平之
連絡先	[電話] (平日 9~17 時)0798-45-6472
	(上記時間以外) 0798-45-6111